

Uターンして 活躍中!!

今号も前回に引き続き、相馬市に戻って活躍している若者の特集します!!
実家のお寺を継ぐために、僧侶資格の取得をめざし県外の大学に進学した茨木祐賢さんに相馬に戻って来て思うことや現在の活動などについて伺いました!!



いばらき ゆうけん 茨木 祐賢さん



相馬市出身。相馬高等学校卒業後、僧籍を取得するため大正大学に進学。卒業後は自坊に戻り、現在にいたる。
御縁があり、先輩から声掛けいただき相馬青年会議所に入会し地域に目を向ける大切さを学んでいる。

Q 相馬市の魅力は?

相馬市は、四季折々の景色、食の宝庫だと思えます。市民の人柄も優しく、とても住みやすい環境です。

Q 相馬市に戻ってきってから考えていたことは?

大学卒業後は、お寺の活動に邁進していました。しかし、僧侶同士の付き合いはあるものの、地域の方々に出会う機会がまったくなかった。さらには、情勢を考えると、地域にあるお寺も「現状維持ではなく、先を見据えて変化」をしていくためにはどうしたらいいかを真剣に考えていたのを覚えています。

Q 今後の意気込みをお願いします!

今後は僧侶として担うべき責任を果たしながら、相馬青年会議所、消防団等の地域活動を続けていきたいです。これまでに培ってきた経験をお寺や地域、そこに住む方々へ還元することができれば本望です。お坊さんとしてだけでは知り合うことができなかった出会いや、お寺だけでは勉強することができなかった学び一つ一つを大切にしていきたいと考えています。これまでのつながりから地域に必要なものが自然と分かるようになりました。今まで以上に相馬市を明るく豊かな土地にしていきたいと思っています。

Q 現在の活動内容は?

青年会議所、消防団に入ったことにより、地域の方々との活発なコミュニケーション機会が増え、お祭りや消防行事をお手伝いすることから始まり、少しずつ地域のコミュニティに参加できるようになりました。また、青年会議所への入会によって活動範囲が県内外へと広がりました。災害時のボランティア活動や相馬を盛り上げる事業を定期的に企画開催し、地域の活性、災害からの復興を目標に活動を行っています。お寺の副住職としての務めと並行し、地元で貢献できる活動を日々考えております。



↑企画・運営を行ったSOMAシーサイドフェスティバルの様子

【議会運営】

①北海道苫小牧市（8月2日）
議会のICT化の推進について視察しました。苫小牧市では、タブレット端末による完全ペーパーレス化の議会運営を行っており、現在はオンライン会議の検討を進めている。今後、介護や妊娠、災害等で会議に出席できない場合を想定し、環境整備や条例の改正等の検討・協議を行っていく。

②北海道大樹町（8月4日）
本会議中継映像の配信について視察しました。大樹町では、町民に議会を身近に感じてもらうために、本会議の中継映像の配信を行っている。これにより町民の意識や、町職員の行政課題や行政運営に対する意識が変わってきている。



情報や会議結果などの情報を発信している。

令和5年8月臨時会（8月9日）

中橋の変更契約や工業団地の売却など

①職員の不祥事を受けて、管理監督責任を取るため、1か月間、市長の給与を15%、副市長の給与を10%減額する条例の制定、②中橋上部工の工事内容の精査に伴う変更契約、③相馬中核工業団地東地区の土地をユニマテック株式会社に売却する土地の処分の3議案を議決しました。

なお、②においては、減額の詳細と開通の見通しについて、③においては、臨時会への上程理由と売却価格について、それぞれ質疑が行われました。詳細は動画をご覧ください。



8月臨時会映像はこちら

8月臨時会の審議結果

議案番号	件名	審議結果
58	市長等の給与の特例に関する条例の制定について	原案可決 全会一致
59	中橋上部工改良復旧工事変更請負契約の締結について	原案可決 全会一致
60	土地の処分について	原案可決 全会一致

10月臨時会の審議結果

議案番号	件名	審議結果
76	土地の処分について	原案可決 全会一致
77	令和5年度相馬市一般会計補正予算(第5号)	原案可決 全会一致

令和5年10月臨時会（10月10日）

台風に伴う災害復旧や工業団地の売却など

①相馬中核工業団地西地区の土地をコスモ精機株式会社に売却する土地の処分、②台風被害による農地、道路等の災害復旧費等の補正予算の2議案を議決しました。



10月臨時会映像はこちら